

リグロスを使った 簡易な歯周組織再生療法とGBRへの応用

- 日時：2020年8月30日（日）10:00～12:30
 - 講師：金崎伸幸先生（日本歯周病学会歯周病専門医 愛媛県保険医協会理事）
 - 座長：綾坂則夫先生（坂出市開業）
 - 会場：高松シティホテル（高松市亀井町8-13）
 - 参加費：会員 3,000円 未入会員 8,000円 定員：25名
- ※必ず事前に下記の口座にお振込み願います。
百十四銀行 本店営業部 普通 0595754 香川県保険医協会 会計 田中眞治（たなかしんじ）



講師略歴

平成2年 「Award of Dentsply」受賞
平成8年 歯学博士 九州歯科大学非常勤講師
平成11年 松山市に開業
平成13年 愛媛県保険医協会理事に就任
平成19年 日本臨床歯周病学会 認定医 厚生省認定 臨床研修指導医
平成23年 日本歯周病学会 専門医 日本顎咬合学会 認定医
平成25年 プラトン社 インプラント正式認定講師
平成25年 厚生労働省より管理型歯科医師臨床研修施設に指定
平成26年 ノーベルバイオケア社 インプラント公認インストラクター
平成28年 日本口腔インプラント学会 インプラント専門医
平成28年 九州歯科大学 審美歯科 非常勤講師
愛媛大学医学部非常勤講師

【講師メッセージ】

歯周組織再生医薬品としてリグロスが発売された当初から、当院では歯周組織再生療法の適応となる様々な症例においてこれを応用してきました。これまでにリグロスを使って行った治療を振り返ってみると、従来の方法よりも使用法が簡便で、良好な結果を得やすい薬品であるというのが私のリグロスに対する率直な臨床的印象です。

導入初期には新薬ということもあり、安全性を確かめながら、かなり慎重に使用を進めましたが、現在では研究者のアドバイスも参考にしながら、インプラント治療におけるGBRの際にも、患者の了承を得たうえで応用しています。GBRの際に人工骨とリグロスを混合して使用すると2次オペまでの待機時間が2か月ほど短縮でき、骨質もより良好なものとなるのが当院の症例では確認できています。当院の歯周治療とインプラント治療の臨床において、リグロスは必要不可欠な材料の一つだと考えています。

今回は「リグロスを使った簡易な歯周再生療法の術式」と「リグロスを使ったGBR」について当院の日常臨床をご供覧いただき、皆様のご指導をいただければ幸いです。

お申込みは香川県保険医協会へFax下さい 087-802-1336

医院名	ご氏名
ご住所	